

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 2 月 10 日

上場会社名 グローリー工業株式会社 上場取引所 東証・大証
 コード番号 6457 本社所在都道府県 兵庫県
 (URL http://www.glory.co.jp/)
 代表者 代表取締役社長 西野秀人
 問合せ先責任者 経理部長 田中修 TEL (0792) 97-3131

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度に : 有 引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用
 おける認識の方法との相違の有無 : してあります
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無
 監査法人による監査は受けておりません。

2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期の業績概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(単位 百万円：未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第3四半期	113,740	(32.7)	15,774	(113.4)	15,427	(109.7)
15年3月期第3四半期	85,733	-	7,391	-	7,355	-
(参考) 15年3月期	117,287		8,641		8,251	

(注) 売上高、営業利益、経常利益におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

今年度のわが国の経済は、国内需要は力強さを欠くものの、海外景気の回復に伴う輸出・生産の増加と輸出関連業種などの設備投資により回復基調が続き、株価の持ち直しも加わって、先行きに対する見通しは明るい兆しとなって参りました。

このような一般景況の中で、当社の関連市場である金融業界につきましては、平成 16 年秋頃を目処に発行が予定されている新紙幣に対応可能な機器の先行需要を中心に好調に推移いたしました。流通業界につきましては、省人化投資が一部で積極化し、スーパーマーケット向けのレジつり銭機や警備保障会社向けの売上入金機の需要は順調に推移しました。これらを主因に、当第 3 四半期（平成 15 年 4 月 1 日から平成 15 年 12 月 31 日まで）における売上高は 1,137 億 4 千万円（前年同期比 32.7% 増）となり、利益につきましては、営業利益 157 億 7 千 4 百万円（前年同期比 113.4% 増）、経常利益 154 億 2 千 7 百万円（前年同期比 109.7% 増）となりました。

(2) 主な資産・負債（連結）の変動状況

	現金及び預金	受取手形及び 売掛金	たな卸資産	支払手形及び 買掛金	短期借入金
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	48,139	51,988	33,880	28,705	18,742
15年3月期第3四半期	51,970	28,536	25,087	15,525	19,276
(参考) 15年3月期	54,260	28,423	21,781	13,294	19,005

〔主な資産・負債（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第 3 四半期末の主な資産・負債は前第 3 四半期末と比較し、受取手形及び売掛金、支払手形及び買掛金は売上高及び生産高の増加に伴い大幅に増加しました。また、たな卸資産は、平成 16 年秋頃を目処に発行予定の新紙幣に対応するための増産により増加いたしました。

(参考 1) 四半期個別経営成績の概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	69,795	10,407	11,829

3. 平成 16 年 3 月期の連結及び個別業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

業績予想につきましては、連結、個別ともに平成 15 年 11 月 14 日公表の数値を修正しておりません。